

支え合い磨き合う校長会

東蒲原郡小学校長会

平成17年4月、旧4か町村が合併し東蒲原郡阿賀町が誕生した。1郡1町の阿賀町は、新潟県東部に位置し、福島県と隣接している。北東側は2千メートル級の飯豊連峰、南側は、御神楽岳、西側には、五頭連峰の1千メートル前後の山々が連なり、町中央を阿賀野川が流れる自然豊かな土地柄である。

合併当時、同じ町に勤める校長としての意識や連帯感をもとと、校長会の名称を「阿賀町小学校長会」と呼んでいた。しかし、現在は、「東蒲原郡小学校長会」に戻し活動している。郡内には、県立中学校を含めて10か校の小中学校があり、そのうち、小学校は7か校である。

郡校長会は、小中合同で毎月1回定例会を実施している。前半は合同で、後半は小中に分かれている。年度初めと年度末は、雪等の道路事情から、会場を津川小学校にしているが、それ以外の期間は、各校持ち回りとしている。その際は、会場校の校長から、学校経営方針に基づく説明を聞かせてもらっている。各校の特色ある教育活動の取組から学ぶことは多い。

特別な研修の場として、毎年、下越の管理主事を招へいし、学校運営研修会を実施している。研修会では、担当校長から、勤務校の教育課題解決に向けての取組の様子を発表してもらい、その後の協議では、活発な話し合いが行われている。今年度は、11月に下越地区特別支援教育研究大会阿賀町大会が予定されている。そこで、郡内校長の特別支援教育に対する見識を深めようと、9月の校長会で、義務教育課特別支援教育推進室の指導主事に講師を依頼し、「地域ネットワークの構築と人材育成」のテーマの下、実のある研修を行った。

郡内の小学校は、若手の校長も多く在職している。そうした新しい感性を大切にしつつ、少人数でも互いに支え合い磨き合おうとする体制づくりに努めている。小規模校が多い東蒲の地である。それぞれの学校が阿賀野川の支流のように、自校の教育活動の熱い思いを互いに注ぎ込みながら、東蒲全体の教育という本流の流れをさらに大きなものにしようと取り組んでいる校長会である。